

実務経歴証明書

氏名	戸籍抄本のとおり記載してください。	生年月日	年 月 日生 (元号は略称記号を用いないこと)
本籍	戸籍抄本のとおり記載してください。		
現住所	郵便番号、住居表示(何番何号何々方、〇〇会社社宅何棟何号室まで明記)を記載してください。 (TEL)		
勤務先及び 役職名	勤務先の名称及びその事業場での役職名を記入してください。但し、すでに退職した事業場から証明を受ける場合には、記入する必要はありません。 (TEL)		

略 歴

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
年月	年月	年月			
平成 〇年 〇月	平成 〇年 〇月	〇年 〇月	<p>〇〇〇〇(株) 〇〇〇工場 〇〇〇〇課 〇〇〇係長</p> <p>(★注意) 現在が許可選任の場合 は許可書の写しを添 付。</p> <p>(★注意) 「役職名」が変更になっ た都度、その役職に対 応する「期間」、「職務の 内容」及び「電気工作物 の概要」を記載するこ と。但し、組織変更等 によるもので業務内容 に変更がない場合には、 「前記同様」と記載す るなどしてください。 なお、実務者から管理 者に変更となった場合 には、職務内容は必ず 記載してください。</p>	<p>(★注意) 職務の内容に当たっては次のポイントを考慮し て行って下さい。なお、事業所毎に、業務の実施 方法が異なるので、申請者が勤務している事業所 全体の発電設備の概要及び保守管理形態につい ても次の項目などにより記載して下さい。</p> <p>1. 概要 (1) 当該事業所の紹介</p> <p>① 業種 (例: 当事業所は〇〇を製造する会社で、…)</p> <p>② 事業所全体の発電設備の概要 (当事業所全体の電気設備は…)</p> <p>(2) 事業所内での担当係の立場 (例: 〇〇係は〇〇を担当しており…等、電気関 係業務を複数課・係で担当する場合は各課・係も 記載する。)</p> <p>(3) 申請者の勤務の概要</p> <p>① 業務開始年月日の記載 (例: 昭和〇年〇月〇日から、…)</p> <p>② どのような立場で (例: 運転員、保守業務として…)</p> <p>③ 誰の指導の下で (例: BT主任技術者の下…)</p> <p>④ 何に基づいて (例: 保安規程、社内規程に基づき…)</p> <p>⑤ どのような場所で (例: 発電所、設備保全課で発電設備の…)</p> <p>⑥ どのような発電設備について (例: 右の発電設備、…)</p> <p>⑦ どのような業務に従事したか (例: 保守担当者、運転員として…)</p>	<p>事業場の名称 〇〇〇事業所 〇〇発電所 出力〇〇〇kW</p> <p>第〇号ボイラー 型式 〇〇〇型 蒸発量 〇〇t/h 最高使用圧力 〇〇kPa 最高使用温度 〇〇℃ 運転開始 平成〇年〇月</p> <p>第〇号タービン 型式 〇〇〇型 定格出力 〇〇kW 入口圧力 〇〇kPa 入口温度 〇〇℃ 運転開始 平成〇年〇月</p>

(4) 業務の実施方法

1) 勤務体制

(申請者が所属する課又は系の勤務体制を記載してください。)

① 日勤又は交替制等

(勤務時間も記載してください。)

② 各担当の業務内容及び人数

2) 申請者の位置づけ(担当)

(上記における申請者の位置づけ(担当)について記載してください。)

(★注意)組織図及び職務分掌規定等を添付し、同図内に申請者が所属する課又は系の業務分掌とその人数及び日勤又は交替勤務の別を記載してください。又、一つの係で多数の人数がいる場合は)又は役割分担も記載してください。

2. 維持・運用に関する日常業務

(★注意)申請者自身が行った日常の業務内容を記載してください。

(1) 運転, 操作業務(Oh/日X〇日/週等)

起動・停止(〇回/月)

① どのような頻度で

(いつ)

② どのような運転操作項目を

③ どのような方法 (例:遠制, 直接)で操作したか

(2) 巡視点検業務 (Oh/日X〇日/週等)

① どのような頻度で

(例:毎日, 週1回, 6回/月程度…)

※交替制等で行っている場合は巡視点検体制及び本人の実施頻度を記載すること

② なにに基づき

③ どのような方法で

(例:目視, …等による外観検査…、パソコン等による監視)

④ どのような点検項目について

※ボイラー・タービン毎に記述すること

⑤ 何に記録し (整理し)

⑥ その結果をどのように処理したか

(★注意)点検頻度等が少ない場合には、日常どのように発電設備の保守管理に携わっているか判断出来るよう記載してください。

3. 維持・運用に関する定期検査業務

(★注意)月次、年次点検業務及び試験測定業務等の定期的に行なう業務について、まず、自社(自ら)が実施したか又は請負業者に委託したかを明確にし、そのとき自らは何をしたのか具体的に記載してください。

(1) 月次検査業務又は年次検査業務

- ① どのような頻度で
(例:○日/月, ○日/年…)
- ② どのような立場で
- ③ どのような方法で
- ④ どのような点検項目について
※上記③及び④は設備毎に記述すること
- ⑤ 何に記録し(整理し)
- ⑥ その結果をどのように処理したか

4. 維持・運用に関する不定期業務

(★注意)事故対応、事故処理に伴う改造、台風、取替工事、補修工事等不定期的に行なった業務について、まず、自社(自ら)が実施したか又は請負業者に委託したかを明確にし、そのとき自らは何をしたのか実績がある場合は具体的に記載してください。

- ① いつ(例:○年○月……………)
- ② どの電気工作物が
- ③ どのような原因で
- ④ どのようになったので
- ⑤ どのような方法で
- ⑥ どのような立場で
- ⑦ どう対応、処理したか

5. 工事に関する業務

(★注意)設計、設計管理、施工、施工管理、試運転について、まず、自社(自ら)が実施したか又は請負業者に委託したかを明確にし、そのとき自らは何をしたのか具体的に記載してください。

(1) 勤務体制等を記載してください。

(勤務時間、当該工事に携わった人数等)

(2) 上記における申請者の位置づけ

(担当)を記載してください。

(★注意)組織図等を参考に添付し、同図内に申請者が所属する課又は係の業務分掌とその人数及び日勤又は交替勤務の別を記載してください。又、一つの係で多数の人数がいる場合は、勤務体制(班、担当、勤務時間など)又は役割分担も記載してください。

				<p>6. 設計業務 (★注意)設計のみのデスクワークは、実務経験年数にはカウントしないでください。 申請者は設計・施工を一貫して従事しており、その内、設計業務については・・</p> <p>① いつからいつまで (例: 昭和〇年〇月〇日から…………の間)</p> <p>② どのような頻度で (例: 〇h/日x〇日/週等)</p> <p>③ どのような電気工作物について (例: 申請者が関わった電気工作物は右欄のとおりで……)</p> <p>④ どのような基準, 方法、考えで設計し</p> <p>⑤ この設計を基に現場ではどのような工事に従事 したのか</p> <p>7. 工事施工業務 (★注意) 据え付け工事, 社内検査等の工程別に記載してください。 申請者の実施した工事施工業務は・・</p> <p>(1) いつからいつまで (例: 昭和〇年〇月〇日から…………の間)</p> <p>(2) どのような工事に (例: 基礎工事, 据付工事, 社内検査,)</p> <p>① どのような頻度で (例: 〇h/日, 〇日/週等…………)</p> <p>② 何人で (例: 申請者を含む〇人で……)</p> <p>③ どこで (例: 工事事務所に常駐し, 工事現場に向き)</p> <p>④ どのような立場で (例: 工事監督者, 現場代理人, ……)</p> <p>⑤ 何を立会い, 何をチェックし,</p> <p>⑥ 誰の, 又は何の指導, 監督をし</p> <p>⑦ それらの結果をどのように処理したか</p> <p>⑧ 試験検査項目とその内容を具体的に記載</p>
--	--	--	--	---

上記の実務経歴を有することを証明する。

令和 年 月 日

事業場所在地

証明 人